

住区センターを 知っていますか？

理・運営を委託されています。もっと知られ、活用されて地域の交流がゆたかになればと思います。2つの住区センターには表のような設備があります。利用申し込みは、各住区センター窓口ま

この住区には、2つの住区センターがあり、地域住民の活動の拠点として、また憩いの場として親しまれてきました。現在では区のサービス事務所は他所へ移転しましたが、施設はそのまま残って住民会議が区から管

で。電話予約もできますが、1週間以内に窓口での手続きが必要です。時間帯(午前・午後・夜間)や会議室によって違いますが600～1600円の利用料がかかります。開館は月曜～土曜の9時～22時まで(児童図書コーナーは17時まで)、日曜・祭日は休館です。

どなたでも利用できます。また、住民会議や区に登録された地域活動団体・社会教育団体などは、予約開始時期や利用料での優遇が受けられます。お互いに気持ちよく使え

だれでも利用できるのですか？



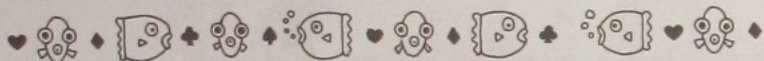
名称	自由が丘	宮前分室	申し込み	予約
第一会議室	洋室 (32)	和室 (24)	要	可
第二会議室	洋室 (22)	洋室 (29)	要	可
第三会議室	和室 (22)		要	可
ミーティングコーナー	※		一部可	
ふれあいコーナー	※	※	不要	不可
談話コーナー		※	不要	不可
児童図書コーナー		※※	不要	不可

※ オープンスペース ※※ 児童書・マンガなどの小さな図書室 () 内は定員

詳しくは各住区センターまでお問い合わせ下さい

自由が丘住区センター：自由が丘・1-24-12 ☎03-3718-1195

〃 〃 宮前分室：八雲・3-22-15 ☎03-3723-7104



るよう「利用のきまり」をお守り下さるようお願いいたします。

どんな活動に
つかわれているのしょうか？

学習・趣味・会議など、さまざまですが、建物の構造上、大きな音を出す楽器演奏や運動などはできません。また、施設の一部を展示・発表に利用することもできます。ふれあい/談話コーナーは随時利用できますので、待ち合わせや休息、勉強などに気軽にゆずりあつてご利用下さい。住民会議主催の催しなど、どなたでも参加できる行事もあります。例えば宮前分室では、学期中の毎週木曜日に親子で楽しむ工作の集まり「木曜工作ランド」が開かれ、とてもに



ぎやかです。身障者用トイレもありますので、町で困ったときにもお使い頂けます。

こんなサービスも
しています

車椅子・高枝切り鉋などを無料で貸し出しています。

どうやってつくるのかな?? 木曜工作ランドにて

住民会議に ついで 知りたいときは?

施設の管理・運営には管理員・運営員があつていますが、住民会議についてのご質問・ご意見は、毎週金曜日の17時～22時まで、自由が丘住区住民会議の管理運営委員が窓口にありますので、ぜひご利用下さい。また、地域の交流・コミュニティ全般に関することは、コミュニティ推進員がご相談を承りますので、よろしくお願いたします。

一滴

車椅子で生活している若い娘さんがつぶやきました。「自由が丘って、素敵なお店がいっぱいあって、行ってみよう。でも、車椅子では歩けないし、入れるお店もない。そう言えば、週末にたくさんの人でぎわう自由が丘だけど、障害者やお年寄り、幼い子どもを連れてお母さんはどうなんだろう?と考えると、しんどい。」

私も車を利用しますが、自分がまちを歩いているときは、車から逃げまどいながら歩きたくはない。車に乗れる人だけが便利なまちではなく、やっとな歩けることができる人、車椅子で移動しなければならぬ人にとつてほんとうに安心して楽しめるまちがほしい。

横浜生まれの私は、元町へときどき行きます。元町商店街は、車道が一車線、一方通行で、曲線にうねっているのです。だから、車はスピードは出せないし、違法駐車もできないのです。私たちは商店街を右へ左へ自由に歩いてわたりながらショッピングを楽しみます。車は、歩行者のエリアとは別なところ、自由に走ればいいのです。ほんとうの優しさを持つ自由が丘が評判になったら、もっともつと人が集まり、活気のあるまちになるのになと思います。

志村 毅一
(緑が丘保育園理事長)

第23回定時総会



ゴールデンウィークの最終日5月6日(日)、緑が丘のコミュニティセンターで、第23回住区住民会議定時総会が開かれました。

多くの来賓、地域住民の出席のもと、木村洋子氏を議長に選出し、活動報告、監査報告、新年度役員選出、活動計画案、予算案を承認しました。この後、任期6年を満了された方々へお礼状が贈られました。

総会終了後には懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中、語らいの場が持たれました。

住み続けたいわたしの町

自由が丘住区住民会議会長 林 幸子

目黒区が13年から22年度までの、目黒区基本計画を発表しました。その中で住民会議への考え方を画一的な支援でなく、その自主性に応じコミュニティ活動団体と競合する事業については、同一の基準で査定をする方向であると発表しました。

今後の住民会議の各種活動に支障が出るのではと12年度は随分心配をし、勉強会をし、区の部長さんに来ていただき確認もしました。補助金もいずれ減額されると予想されます。そこで住民会議23年の活動の蓄積が生かされるべきでしょう。

各種の事業活動、例えば美化デー・リサイクルセール・防災訓練・和田村キャンプなど「住区」全域の人々と交流し合える場面もついています。住区内で活動されているコミュニティ活動団体と事業の補助金を取り合うのではなく、むしろいっしょに地域課題解決の場を共有したいと考えます。住民会議は開かれた組織です。ぜひコミュニティ活動団体からのアプローチをまっています。キーワードは「住み続けたい町」。住民会議もさらに工夫を重ね交流の場を作りだしたいと思います。



平成13年度人事異動

現職
 第十一中学校校長 遠藤 正則
 第十中学校教頭 醍醐 路子
 西部地区サーブিস事務所所長 鹿田 健司
 緑が丘文化会館館長 鹿毛 雅子

平成13年度住民会議役職者

副会長	石川幸子	参事	鹿毛雅子
会長	林靖英	参事	鹿毛雅子
本部会計	白井泰男	参事	鹿毛雅子
総務委員長	松原純子	参事	鹿毛雅子
広報委員長	志茂純子	参事	鹿毛雅子
参事	栗山泰男	参事	鹿毛雅子
参事	橋本洋子	参事	鹿毛雅子
参事	寿松源太郎	参事	鹿毛雅子
参事	前川嘉男	参事	鹿毛雅子
参事	渡辺靖和	参事	鹿毛雅子
参事	五十嵐忠二	参事	鹿毛雅子
参事	山崎やよい	参事	鹿毛雅子
参事	会田健司	参事	鹿毛雅子

緑ヶ丘小学校のタイムカプセル開封

5月27日、あいにくの小雨の降る中でしたが、当時の先生方9名をはじめ、同窓会役員、当事者、校長先生など20名余りが参加して、無事に開封することができました。

このタイムカプセルは、昭和49年3月、創立35周年の記念に高橋勝蔵氏より寄贈された日時計の中に埋設されたもので、当事の在校生(第36回生、第41回生)の作文などが入っていました。

当初の開封予定は2003年(創立百周年)だったのですが、21世紀になった今年、急きょ予定を早めて開けることになりました。

当日は久しぶりの再会に昔をなつかしむ姿が会場にあちこちで見られました。中身の保存状態もよく、ほとんどが作文なども読める状態でした。

当日の様子は東京新聞やテレビ東京でも報道され、いい記念になったと思います。

秋山知隆(第36回生)

みんなで楽しく グランドゴルフ

6月10日(日)緑小の校庭で地域活動委員会主催の地域スポーツ、グラウンドゴルフが開かれました。

梅雨の晴れ間50人が集まり委員会ごと一般の6つのグループに分かれ優勝カップを競いました。

優勝は防災委員会で傘の賞品が出ました。年度初めに各委員会の親睦をはかり垣根を低くして住民会議の運営がスムーズ

7年(創立百周年)だったのですが、21世紀になった今年、急きょ予定を早めて開けることになりました。

当日は久しぶりの再会に昔をなつかしむ姿が会場にあちこちで見られました。中身の保存状態もよく、ほとんどが作文なども読める状態でした。

当日の様子は東京新聞やテレビ東京でも報道され、いい記念になったと思います。

秋山知隆(第36回生)

委員会活動予定(5~10月及び通年の活動)

月	活動	委員会
6	・グランドゴルフ(10日) ・小形ポンプ操法大会(30日) ・消防操法大会	地域活動 防災 防災
7	・料理教室(12日) ・自転車点検 緑ヶ丘小(17日) ・ミニミニ防災塾(18日) ・住区美化デー(20日) ・和田村キャンプ(30~8/1)	地域活動 青少年 防災 環境整備 青少年
8	・ミニミニ防災塾(15日) ・花火とキャンプファイヤー 花火大会防災指導 (宮前小26日・緑ヶ丘小25日)	防災 青少年 防災
9	・目黒区防災訓練参加 ・リサイクルセール(9日) ・ミニミニ防災塾(22日)	防災 地域活動 防災
10	・自転車点検 宮前小(6日) ・特別事業(飯盒炊さん) ・クリーンキャンペーン	青少年 青少年 環境整備
通年の行事	・ダンベル体操(毎週土曜) ・自由が丘駅前清掃(毎週木曜) ・自由が丘駅前花壇の整備(毎月) ・交通安全対策I(駅前クリーンキャンペーン、他) ・交通安全対策II(年2回、春秋) ・宮前分室図書コーナー(日休) ・宮前分室工作ランド(学期中の木曜)	地域活動 環境整備 環境整備 環境整備 青少年 青少年



6月3日、区立七中において目黒区小型消防ポンプ操法演技大会に緑が丘西地区自治会より出場、準優勝されました。災害から守る地域防災組織として日頃からの訓練を重ねた成果とお喜び申し上げます。

エネルギーを 考える

5月31日、環境整備委員会はバス見学会を開催。



町に掲示板

プール開放
 ☆緑ヶ丘小学校
 7月21、22、28、29、
 8月4、15、18、19、
 25日

☆宮前小学校
 8月2、16日

☆熊野神社大祭
 9月1、2日

□女神まつり
 10月7、8日

編集後記
 住区住民会議の活動も知らないで住区の広報になりました。ドキ・ドキ・ワクワク、皆さんと楽しく夏号を完成し、とても感激でした。(U)

広報委員紹介
 松原純子 大貫 南
 谷口京子 山本洋子
 松本智恵子 岸田 哲
 宮崎ツヤ子 武立生子
 稲葉光章 品田 笙子
 山本秀代 梅原たか子

発行 自由が丘住区
 住民会議
 編集 広報委員会
 (3718) 1195

身につく役立つ 『ミニミニ防災塾』

『喉元過ぎれば熱さ忘れる』の格言は、私達の災害に対する危機意識を言い当てているようです。災害の直後には大騒ぎするのに、時がたつと、すぐ風化させてしまう。これを繰り返しては進歩が望めません。

災害が起きたとき必要なのは何か。それは、集団の中で沈着に判断し行動できることではないでしょうか。そして、その集団の中に、周囲をまとめる核になれる人がいたらそこにはコミュニティが出来上がっていくでしょう。

ミニミニ防災塾では、私達一人一人がその【核】になれるような体験学習を行います。繰り返しの学習が知らず知らずのうちに身につくものだと思います。

普段の生活にも役立つものとなるでしょう。通年のプログラムで一緒に楽しみながら体験しませんか。

防災住区委員会